

講評 相続後しばらく空いていた戸建て住宅の改修。子育てを終えたご夫婦の、趣味と仕事と暮らしが詰め込まれた住まいである。「乾物屋のような場所にしたかった」とご主人が語るように、適度な距離感でまちを見守る存在になっている。ご夫婦がイメージする「渋格好いけど可愛らしさが残る感じ」を設計者が丁寧に具体化した。「小さく店だけ開こうと思って始めたが、そのうち本気になって住もうと決めた」のも設計者の力量だろう。

リフォーム前後の写真



・リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

「リフォームの動機」
 施主のご両親から譲り受けた家を住居兼珈琲豆焙煎店に改装し、今までの通信販売に加え、実店舗でも直接地域の方々へ美味しい珈琲を伝えたい。珈琲豆に対するこだわりを感じさせながらも、近隣の様々な世代の方が気軽に立ち寄れる親しみある雰囲気のお店にしたい。

「設計・施工の工夫点」
 デザインキーワードは、既存利用部分（玄関ドア、室内階段、横入りサッシ等）ともうまく馴染み、近所に多く住む団塊世代の方々へ親しみある「昭和レトロ」や若い方にも馴染みのある「ミッドセンチュリー」。昭和中期のノスタルジー特有の和洋折衷感や新旧ミックス感を出すため、一見和風なタイルをミッドセンチュリー調のタイルにしたり、使いこまれた感のある素材（古材フローリング、古材カウンター、モルタル、革）と新建材（化粧ボード、FRP、プライウッド）をミックスさせ、リフォーム直後から既に使い込まれた店舗の空気感が出るように配慮した。古材の床材は施主ご夫婦と共に業者の倉庫へ出向き、1本1本選んだもの。玄関の軒下照明は現代の商品だが、昔からそこにあったようなデザインを探し求めた。

性能向上の特性
 温熱性能、自然素材

特に配慮した事項
 （温熱性能に関して）セルロース、一部木枠トリプルサッシ、ペアガラス
 （自然素材に関して）無垢材（パイン材※古材含む）、珪藻土

所在地	神奈川県横浜市	築後年数	35年	施工期間	80日間
該当工事面積	35.05㎡ / 総工事床面積 62.8㎡	該当部分工事費	980万円 / 総工事費 1,200万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満：2人、65歳以上：0人、15歳未満：0人、ペット：猫1匹				

リフォーム前 リフォーム後

